

立体パズルで遊ぼう

ソーマキューブとは？

山下辰夫



1 2 3 4 5 6 7

このキューブは1936年にデンマークのピート・ハイン教授が発明されました。

遊び方

上図のような違った形の7つのパーツを組み合わせて、たて、よこ、高さが $3 \times 3 \times 3$ の立方体に組み立てる遊びです。

立方体ができる組み合わせ方は240通りもあります。何回か組み合わせを変えてトライすると、そのうち組み立てが成功します。

組み合わせが多いただけ作りやすいです。違う組み合わせがいくつできるかやってみるのも面白いと思います。苦労したら、その分、できた喜びは大きいと思います。完成したとき、記録をしておく、いいでしょう。

材料

1辺3cmの木の立方体27個を使います。

木の立方体は1袋8個組で、ダイソーやセリアに110円で売っています。

これが4袋とボンドが必要です。



作り方

木の立方体を上の図のようにボンドでつなぎ、7つのパーツを作ります。

(順序)

1 まず、2個つなぎを11組作りましょう。

ボンドをつけて、ベランダピンチ(ふとんはさみ)ではさんで10分くらい、そっとおきましょう。

※ボンドを付けすぎると、固まるまでの時間がかかります。

※かたむいたり、位置がずれたら、組み立てがうまくできません。ボンドが固まりはじめる前は、慎重に扱い、固まるまで、根気よく待ちましょう。

2 2個つないだ物に1個や2個つけるパーツ、2個つないだ物どうして作るパーツなど、つける位置や向きに気をつけましょう。

3 7つのパーツが全部できたら完成です。

4 ボンドがよく固まったら、立方体を組み立ててみましょう。

5 サンドペーパーでみがいたり、色をつけたりして、世界に1つしかないあなただけのキューブにしてみませんか。

